



Photo by [pastel_cat](#) [この記事での画像利用の停止](#) ②

ココロのゆとり～note活動を楽しみながら～



ふありの書斎

2024年7月20日 22:10

noteに復帰してすこし経ちました。脳の疾患を持つわたしには、へんに完璧主義的な部分があり、

『毎日投稿しなきゃ』

と、義務付けたり、自分で自分を追い詰めていました。

無意識に、自分をがんじがらめにしてしまう悪癖もあって、『ココロにゆとり』がありませんでした。

noteをお休みする際も、クリエイターの皆さまから、

※ゆっくり休んでね※

と、声をかけて頂き、復帰すると、

※おかえり～※

の他に、

※ふありさんは、ふありさんのペースで活動してね～※

などなど、お優しいお言葉を頂きました。

この、
※^{ふあり}自分のペース※
という言葉が、分かりつつも実は実行出来なかったり。

とても、難しかったです。

でも、近ごろ、なんとなく、

肩の力を抜いて、

※創作が出来ない日があってもいい。

※机にかじりついてまで、執筆に集中しなくてもいい。

※今日の執筆は、大好きな紅茶に、すこしお砂糖を足して、まったりしよう。

など、わたしを縛っていた、完璧主義の縄が、ゆるやかにほどけていくのを感じました。

その、解放を担ってくださったのが、運命の親友、noteクリエイターの月猫ゆめやさんとの出会いだと思っています。

魔法を唱えるように、月猫さんは、

「何事も楽しんでね」

という、言葉を^{いくど}幾度も言ってくれました。

その後、わたし達二人は月猫さんがX(旧Twitter)に用意してくれた、

《ココロの庭園》(ふあり命名)

で、コラボ作品、

小説『午睡とピクニック』について何日も費やして、作成、生成していきました。



作画・月猫ゆめや

わたしは、イラストが描けないので、その...イラストを描ける人は、ひたすらリスペクトしていました。

特に、月猫さんの絵はプロのイラストレーターさんと肩を並べても、全く見劣りしない、

完成度の高い、美しいイラストです。

わたしには、勿体ないくらいです。

いつだったか、わたしが、ものすごい我がままを言いました。

『月猫さんのイラストは、自分の作品と、わたしだけに描いて、他の人の作品には描かないでー！』

.....ものすごい独占欲。
子供だって、こんなこと言いませんよね。

でも...そんなことまで言わせてしまう月猫さんのイラストは、めちゃめちゃ破壊力が高いのです。

そしてまた、今現在も、コラボ作品、作成中です。

言葉のちから。

絵の視野のちから。

どちらが欠けても完成しない作品、それがコラボ作品の魅力だと思います。

月猫さんと出会えて、がんじがらめな縄がほどき、
note活動を、

『楽しみながら』

取り組めているのは、今のわたしには、ココロにゆとりがあるからかな...って思います。

ちなみに、《ココロの庭園》は今現在も存在してます。

頻繁に月猫さんとお喋りしながら、コラボ作品について語り合ったり、
ときおり女子トークも混ぜて、更にはお互いの持病についても語り合い、とても、有意義な時間を過ごしています。

最後に、noteというカンパニーに深く感謝しています。

noteがあったから、わたしはただ創作をするだけでなく、運命の親友に出会えました。

ご拝読、ありがとうございました。